

令和6年度新規就農者との意見交換会

岡山県内の新規就農を語る～定着のために必要なコト～

開催概要



令和7年2月27日開催
中国四国農政局岡山県拠点

I. 開催目的と農業者の現状・課題

【目的】

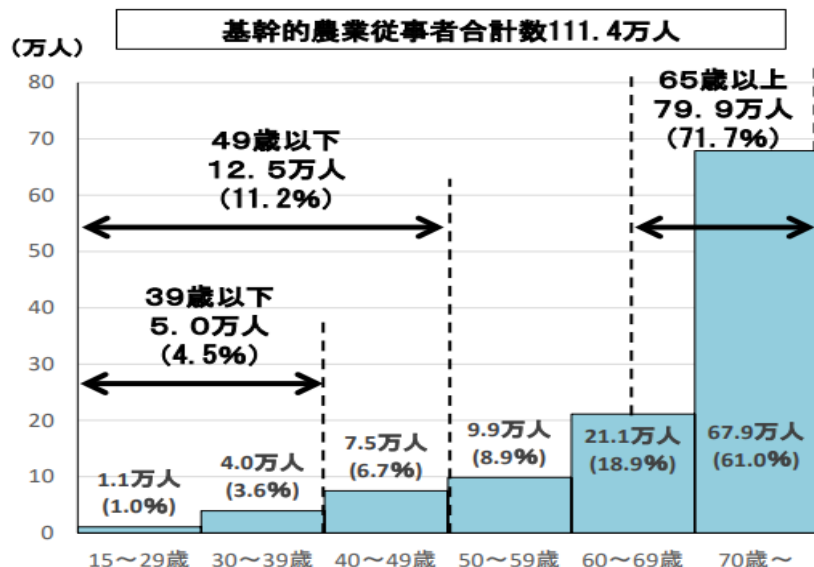
岡山県拠点として岡山県等の関係機関と連携し、県内の新規就農の促進・定着を図る上での取組や課題を共有する場として開催。

【課題】

基幹的農業従事者は、65歳以上が71.7%、49歳以下が11.2%（39歳以下4.5%）と著しくアンバランスな状況で高齢化率が高い。

持続可能な力強い農業を実現していくには、農業の内外からの新規就農を促進し、世代間バランスの取れた農業構造にしていくことが重要。

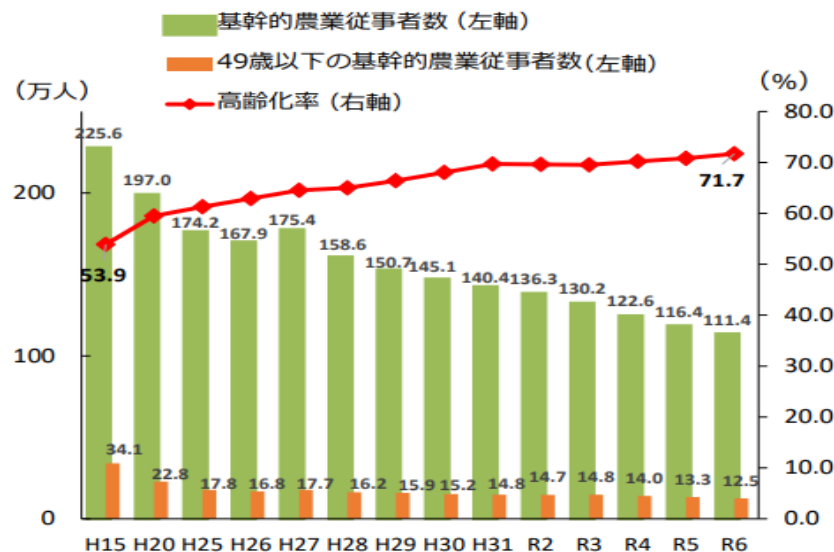
【全国】年齢階層別基幹的農業従事者数（令和6年2月現在）



* 令和6年2月1日現在

資料：農林水産省「農業構造動態調査」

【全国】基幹的農業従事者数の推移

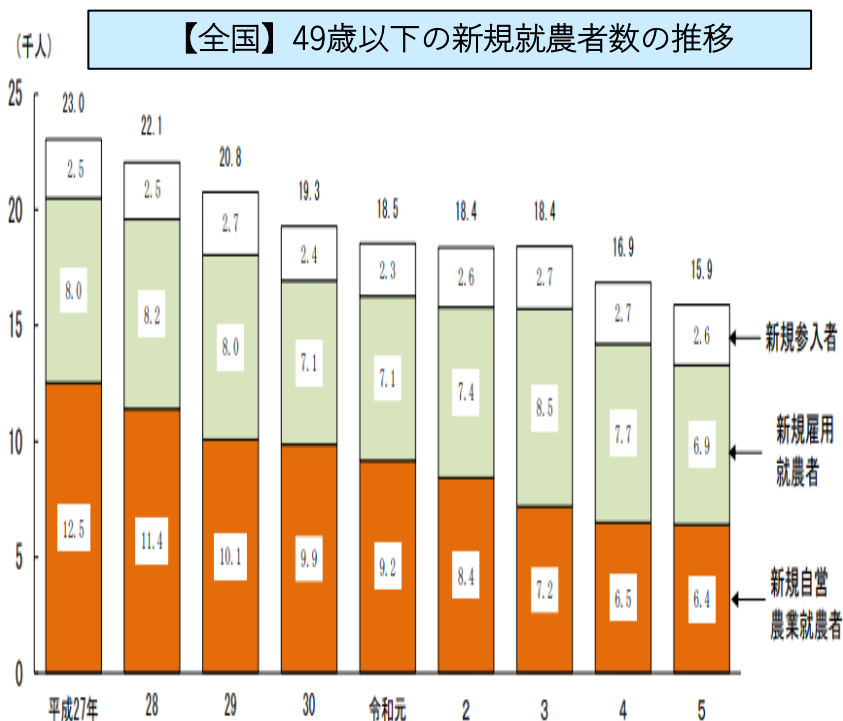


資料：農林水産省「農業構造動態調査」

2. 新規就農者の推移

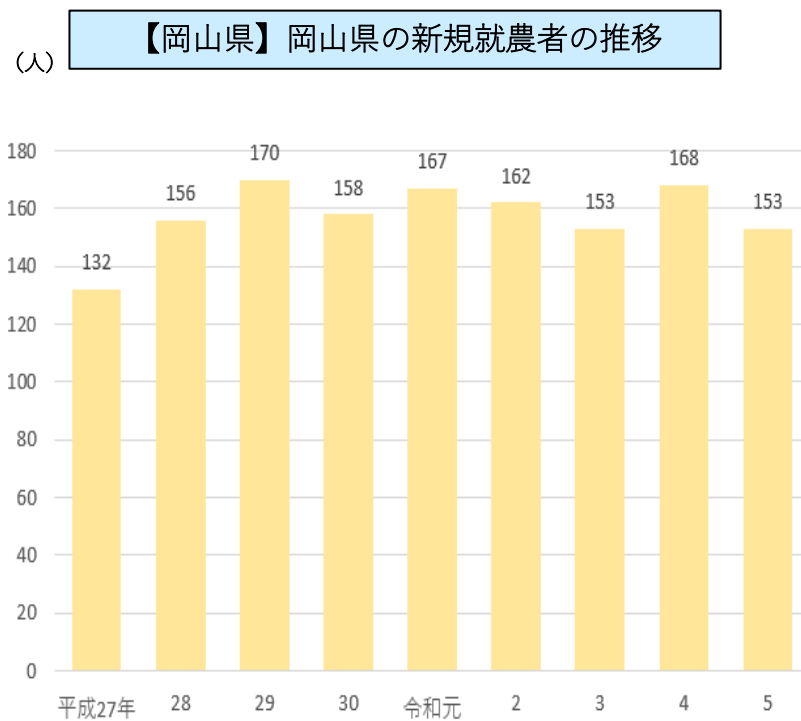
【現状】

令和5年の49歳以下の新規就農者は、1万5,890人で、前年から5.8%減少。
岡山県の新規就農者は、近年では150人ほどで推移。



* 就農形態別

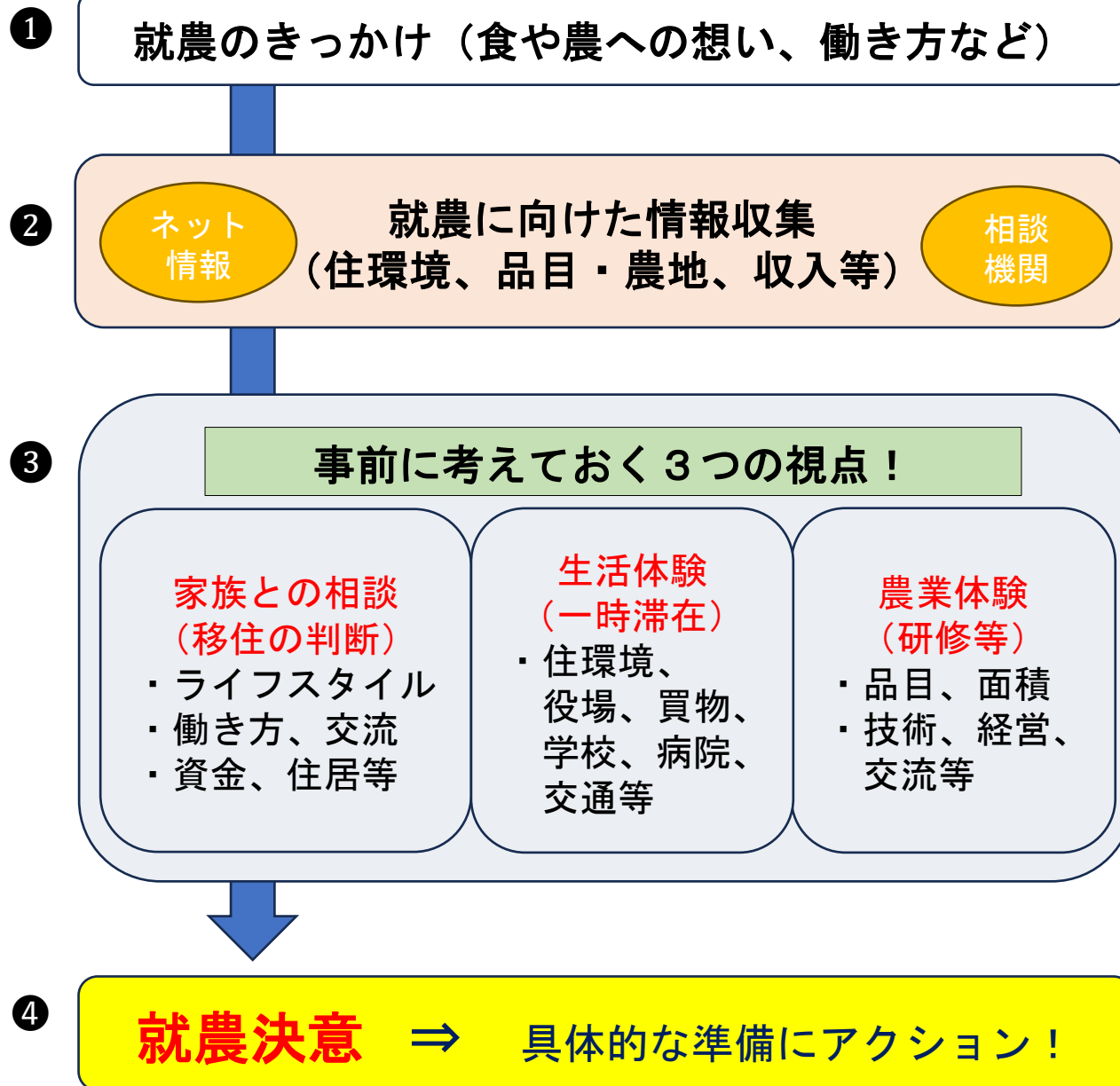
資料：農林水産省「新規就農者調査」



* 65歳未満での集計

資料：岡山県農産課調べ

3. 新規就農までのアプローチ例（イメージ案）



定着のために
必要なコト！

⑤ アクションその1

農地・住宅確保

資金確保

技術習得

地域との関わり

⑥ アクションその2

技術向上

機械・施設導入

経営改善

販路確保

4. 新規就農者（3名）の経営概要



ほんざわ やすお

本澤 康夫氏（40歳）総社市

- 品 目：もも露地栽培
- 経営面積：210 a
- 埼玉県から移住、就農2年目

【メッセージ】

若い力で理想のもも栽培を目指し、高品質な白桃を全国に普及して、岡山白桃の知名度を上げたい。



しみず ひろあき

清水 仁章氏（49歳）吉備中央町

- 品 目：簡易被覆ぶどう
- 経営面積：56 a
- 大阪市から移住、就農4年目

【メッセージ】

生涯を通して、高品質なぶどうを生産することで経営の安定化図っていきたい。



くにやす ちひろ

國安 千尋氏（54歳）赤磐市

- 品 目：もも、ぶどう等
- 経営面積：もも100 a
ぶどう10 a
- 夫の実家を継承、就農3年目

【メッセージ】

ももを手にした人の笑顔と喜びを想像し“もも一筋”を目標に小さな事から頑張ります。

5. 3名の方の取組（就農までの歩み：その1）

1 就農のきっかけは？

- ・ 子供の頃からの夢。
- ・ 農業以外に従事する中で、自分の都合で高齢まで働くことができること。
- ・ 放置された木を見て何とかしたいとの思い。

2 まずは情報収集から？

- ・ 就農セミナー（新・農業人フェア等）やふるさと回帰支援センターのイベントに参加したり、各産地の見学ツアー等に参加。
- ・ 就農に関するネット情報等で収集。

3 就農への判断は？

- ・ 自ら検討する中で家族に相談しつつ判断。
- ・ 品目は、収入面や作業性のほか、継承や借りる農地の状況等で判断。
- ・ 判断までの検討期間は人それぞれ違うが、事前に県内外の産地を数多く訪問を行った。

4 農地・住宅の確保は？

- ・ 農地バンクや農業公社から借り入れるほか、経営継承の場合は身内から。
- ・ 市の紹介やネット情報等を元に賃貸又は購入。

3名の方の取組（就農までの歩み：その2）

5 資金の準備は？

- ・ 取り組む品目や規模により様々であるが、今回の例では、
 - ①自己資金：約800～1,000万円
 - ②融資：約200～350万円
- ※経営継承の場合、自己資金約100万円

6 技術習得は？

- ・ 技術研修を行っている県の三徳園や農業公社などで基礎研修を受講。
- ・ 研修の受入農家や生産部会などで栽培管理や剪定作業などの指導を受ける。

7 地域とのかかわりは？

- ・ 地域活動として行われる草刈や消防団、季節ごとに行われる祭りなどの催しに積極参加。
- ・ 周辺住民の方が参加できる農作業体験の機会を作り、知り合いを増やした。

8 経営の努力は？

- ・ 技術向上や機械の導入により、生産性を向上。
- ・ 経費節減のため、資材の大量購入や自ら鳥獣対策の柵を張るなどを実施。

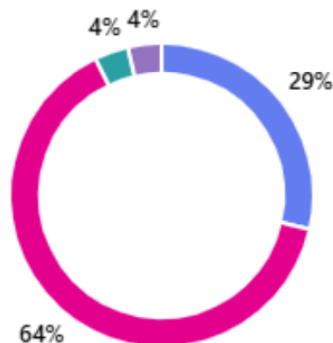
6. 今回の3名のお話からわかったポイント

1. 就農の動機を明確にした上で、実現のために、まずは情報収集を行うことが必要であり、ネット検索だけでなく就農候補先を訪問し、自分の五感と足を使って確かめることが大事。
2. 就農先や取り組む品目の決定、必要な資金の確保など、就農までに十分な準備を行うことが必要。慌てずにしっかりと腹をすえ時間をかけて検討する中で、家族の理解を得ることも重要。
3. 地域・周辺の方とのコミュニケーションが大事。出会った生産者にはできるだけ話しかけるなど、キッカケを大切にして手間を惜しまずに繋がっていくことが重要。
4. 安定した経営のためには、一定の品質と量の確保が必要であり、日々の観察と技術の向上に励んでいくことも大事。
思わぬことが起きるのも、想定の上で対応していくこと。
5. 様々な新規就農のスタイルがある中、それぞれの課題解決に向けて、各行政・関係機関が連携した継続的な支援が大事。

7. 参加者アンケートの結果（回答率：約56%）

■ 今回の新規就農者との意見交換会は、参考になりましたか。

- 大変参考になった。 8
- ある程度参考になった。 18
- あまり参考にならなかった。 1
- 全く参考にならなかった。 1

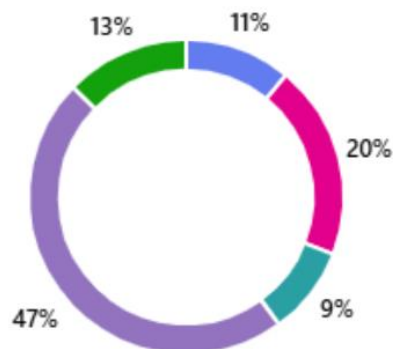


① 研修制度を活用していない人や果樹以外なども含め、幅広い事例を聞きたい。

② 今回すべて果樹農家だったので、米麦、野菜などの取組紹介も聞きたい。

■ 意見交換会の中で、参考になったパートをご回答ください。

- 中国四国農政局からの説明 6
- 岡山県からの説明 11
- 岡山県拠点からの補足説明 5
- 農業者3名からの説明 26
- 意見交換（ディスカッション） . . . 7



③ 三者の発表と意見交換に重複が多かった。一般参加者からの質問タイムを取ってほしかった。

等の意見があった。

8. 新規就農に係る各種施策（中国四国農政局経営支援課）

「農業」
の発見



就農
検討



就農
準備



就農
開始



経営
発展



農業の魅力発信支援事業

職業としての農業の魅力発信の取組を支援

農業人材確保推進事業

新規就農相談・情報発信、就農相談会の開催等を支援

独立自営就農者への支援

就農準備資金

研修期間中、**年間最大150万円**
を交付（最長2年間）

経営開始資金

新たに経営を開始する者に対して
年間最大150万円を交付
（最長3年間）

経営発展支援事業 等

新規就農者の機械・施設等の導入を
支援（国の補助上限500万円）

世代交代円滑化タイプ

機械・施設等の導入に加え、修繕・
移設・撤去や、経営移譲に向けた取組
を支援（国の補助上限600万円）



雇用就農の促進
（農業法人等への支援）

雇用就農資金

- ・ 正規雇用に向けた**トライアル雇用**
就農の実施のためのマッチング
経費等を支援
- ・ 就農希望者を新たに**正規雇用**する
農業法人等に対して、**年間最大**
60万円を交付（最長4年間）

雇用体制強化事業

- ・ 就労条件改善による従業員の
働きやすさを高める取組を支援
- ・ 他産地・他産業との連携等による
労働力確保の取組を支援

受入体制支援

農地の受け手確保に向けた 新規就農者 誘致環境整備事業

地域計画の策定により
明らかになる
受け手のいない農地に
新規就農者を誘致するための

- ・ 体制整備
- ・ 研修農場の整備
- ・ 就農前後の方に対する
トータルサポート活動
- ・ 農地の整備等
を一体的に支援

教育支援

農業教育 高度化事業 等

農業大学校や農業高校等
における
農業教育の高度化・充実
に必要な

- ・ カリキュラム強化
- ・ 研修用機械・設備の導入
- ・ 施設の整備
- ・ ICT環境の整備
- ・ 現場実習や出前授業
- ・ 現役農業者に対する
リ・スキリング
等を支援